

予算審査特別委員会記録

令和2年2月27日（木）午後2時52分開議

○審査日程

- 1 委員長の互選
- 2 副委員長の互選
- 3 委員席の指定
- 4 分科会の設置
- 5 分科会委員の選任
- 6 分科会主査・副主査の互選
- 7 理事会の設置
- 8 総括説明

議案自第7号至第21号

財政局長

議案第22号

病院事業管理者

議案第23号

建設局長

議案第24号

建設局次長兼水道局長

○出席委員

桜井秀夫君	青山雅紀君
伊藤隆広君	渡辺忍君
鷺見隆仁君	秋山陽君
岩井美春君	小坂さとみ君
岡田慎君	安喰初美君
伊藤康平君	森山和博君
櫻井崇君	蛭田浩文君
石川弘君	阿部智君
岩崎明子君	松井佳代子君
亀井琢磨君	田畑直子君
川合隆史君	椀澤洋平君
酒井伸二君	村尾伊佐夫君
植草毅君	岩井雅夫君
秋葉忠雄君	小松崎文嘉君
向後保雄君	川村博章君
宇留間又衛門君	麻生紀雄君
段木和彦君	白鳥誠君
盛田眞弓君	中村公江君
近藤千鶴子君	川岸俊洋君

暫 定 版

※確定版の記録ではありません。今後修正される可能性がありますので、御注意ください。

令和2年予算審査特別委員会記録（2月27日）

小 川 智 之 君	中 島 賢 治 君
三 須 和 夫 君	石 井 茂 隆 君
茂手木 直 忠 君	米 持 克 彦 君
石 橋 毅 君	橋 本 登 君
三 瓶 輝 枝 君	福 永 洋 君
野 本 信 正 君	

○欠席委員

森 茂 樹 君

○説明員

市 長 熊 谷 俊 人 君	副 市 長 鈴 木 達 也 君
副 市 長 服 部 卓 也 君	病院事業管理者 齋 藤 康 君
総 務 局 長 山 田 啓 志 君	総合政策局長 川 口 真友美 君
財 政 局 長 小 池 浩 和 君	市 民 局 長 曾我辺 穰 君
保健福祉局長 山 元 隆 司 君	こども未来局長 峯 村 政 道 君
環 境 局 長 米 満 実 君	経済農政局長 加 瀬 秀 行 君
都 市 局 長 佐久間 正 敏 君	建 設 局 長 佐 藤 寿 之 君
消 防 局 長 兼 卷 重 義 君	会 計 管 理 者 小早川 雄 司 君
都 市 局 次 長 松 本 真 吾 君	建 設 局 次 長 出 山 利 明 君
病 院 局 次 長 初 芝 勤 君	兼 水 道 局 長
総 務 部 長 大 野 和 広 君	市 長 公 室 長 折 原 亮 君
教 育 長 磯 野 和 美 君	財 政 部 長 橋 本 欣 哉 君
選挙管理委員会 石 野 隆 史 君	教 育 次 長 神 崎 広 史 君
事 務 局 長	人 事 委 員 会 香 取 徹 哉 君
農 業 委 員 会 松 浦 良 恵 君	事 務 局 長
事 務 局 長	代 表 監 査 委 員 大 木 正 人 君

○議会事務局

事 務 局 長 鎌 田 栄 君	次 長 湊 信 幸 君
議 事 課 長 松 本 伸 一 君	議 事 課 長 補 佐 中 嶋 健 君
議 事 班 主 査 木 下 哲 央 君	

○議長（岩井雅夫君） ただいまから、予算審査特別委員会を開催していただくわけですが、本日は最初の委員会でございますので、正副委員長の互選等をお願いいたします。

私より、年長委員であります石橋毅議員を御紹介申し上げます。

それでは、石橋毅議員、よろしくをお願いいたします。

〔議長退席、年長委員着席〕

午後 2 時 52 分 開 議

○年長委員（石橋 毅君） ただいまから予算審査特別委員会を開きます。

私が年長委員ということでありますので、委員長が互選されるまで委員長の職務を務めさせていただきます。

出席委員は49名、委員会は成立いたしております。

委員長の互選

○年長委員（石橋 毅君） それでは、委員長の互選につきましては、指名推選の方法によることとし、私から指名いたしたいと思いますが、御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○年長委員（石橋 毅君） 御異議がないものと認め、委員長には近藤千鶴子委員を指名いたしたいと思いますが、御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○年長委員（石橋 毅君） 御異議がないものと認め、近藤千鶴子委員が委員長に当選をされました。

それでは、委員長就任の御挨拶をお願いいたします。

〔委員長 近藤千鶴子君 登壇、拍手〕

○委員長（近藤千鶴子君） 皆さん、こんにちは。ただいま、委員皆様の御推挙をいただき、予算審査特別委員会の委員長を仰せつかりました公明党千葉市議団の近藤でございます。

新年度予算は、昨年の災害を踏まえた災害に強いまちづくりやオリンピック・パラリンピックの開催に備えた取り組みなど、大変多くの事業が組まれており、本市にとって重要な予算の内容となっております。

一方、議会改革の推進の中で、特別委員会の審査方法が常任委員会ごとの5分科会審査となって既に6年が過ぎました。5分科会での審査を進めるに当たっては、委員お一人お一人の専門性が十分に発揮される運営であるべきと考えるところです。しっかりとした審査に取り組んでいただくこととなりますが、新型コロナウイルスの影響が懸念される現状の中で、限られた時間での審査となりますので、主査を初め委員皆様方の実りある充実した審査をお願い申し上げます。

どうぞ、よろしくをお願いいたします。（拍手）

○年長委員（石橋 毅君） それでは、委員長席を交代いたします。皆様方の御協力を感謝いたします。ありがとうございました。（拍手）

〔年長委員退席、委員長着席〕

○委員長（近藤千鶴子君） 引き続き、副委員長の互選につきましては、指名推選の方法によることとし、私から指名いたしたいと思いますが、御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（近藤千鶴子君） 御異議ないものと認め、副委員長には阿部智委員を指名いたしたいと思いますが、御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（近藤千鶴子君） 御異議ないものと認め、阿部智委員が副委員長に当選されました。それでは、副委員長就任の御挨拶をお願いいたします。

〔副委員長 阿部 智君 登壇、拍手〕

○副委員長（阿部 智君） ただいま、委員長の指名、皆様の御同意をいただきまして、副委

暫定版

※確定版の記録ではありません。今後修正される可能性がありますので、御注意ください。

令和2年予算審査特別委員会記録（2月27日）

員長に就任させていただきました自由民主党千葉市議会議員団の阿部智でございます。

予算審査特別委員会が慎重かつ厳正な審査となりますよう、委員の皆様をお願い申し上げます。よろしくお願いたします。（拍手）

委員席の指定

○委員長（近藤千鶴子君） 次に、委員席につきましては、ただいまお座りの席を指定いたします。

分科会の設置

○委員長（近藤千鶴子君） 次に、議案第7号から第24号までの18議案の審査のため、常任委員会単位の五つの分科会を設置することとし、各常任委員会の委員定数をもって構成いたしたいと思いますが、御異議ございますか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（近藤千鶴子君） 御異議ないものと認め、さよう決定いたしました。

分科会委員の選任

○委員長（近藤千鶴子君） 次に、分科会委員の選任につきましては、お手元に配付の委員表のとおり指名いたしたいと思いますが、御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（近藤千鶴子君） 御異議ないものと認め、さよう決定いたしました。

予算審査特別委員会分科会委員表を添付

分科会主査・副主査の互選

○委員長（近藤千鶴子君） 次に、各分科会の正副主査につきましては、各常任委員会の正副委員長を充てることといたしたいと思いますが、御異議ございますか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（近藤千鶴子君） 御異議ないものと認め、さよう決定いたしました。

理事会の設置

○委員長（近藤千鶴子君） 次に、予算審査特別委員会に理事会を設置し、理事会は議会運営委員会理事会の構成をもって充てることといたしたいと思いますが、御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（近藤千鶴子君） 御異議ないものと認め、さよう決定いたしました。

議事の都合により、暫時休憩いたします。

午後2時57分休憩

午後 3 時 40 分 開 議

総括説明

○委員長（近藤千鶴子君） 休憩前に引き続き、委員会を開きます。

まず、令和2年度一般会計予算及び各特別会計予算の総括説明をお願いいたします。財政局長。

○財政局長（小池浩和君） 令和2年度当初予算案の総括説明を申し上げます。

私からは、一般会計並びに企業会計を除く14の特別会計について御説明を申し上げ、引き続き各企業会計につきましては、所管局より御説明を申し上げます。

それでは、令和2年度当初予算（案）のあらましの表紙をおめくりいただきまして、目次を御覧ください。

本日は、ローマ数字のⅠ、令和2年度当初予算（案）の概要を中心に御説明いたしますが、このうち、1の編成の背景及び2の編成の基本的考え方につきましては、市長の提案理由の中で御説明申し上げておりますので省略をさせていただき、3の予算規模から御説明を申し上げます。

それでは、4ページをお願いいたします。

初めに、3の予算規模です。

表1は、会計区分ごとの当初予算額を前年度と比較したもので、一般会計の規模は、4,636億円で、前年度に比べ26億円、0.6%の増となっております。

企業会計を含む特別会計17会計の規模は、4,112億9,300万円で、前年度に比べ404億円、8.9%の減となっております。これは、公債管理特別会計や国民健康保険事業特別会計が減額となることなどによるものです。

全会計を合わせました規模は、8,748億9,300万円で、前年度に比べ378億円、4.1%の減となっております。

5ページをお願いいたします。

4の一般会計予算の内容です。

まず歳入ですが、表2の歳入予算の款別の主な内訳と表の下の増減説明をあわせて御覧いただきたいと存じます。

市税は、2,006億円、構成比は43.3%、前年度に比べ20億円、1.0%の増となっております。これは、法人税割の税率引下げにより法人市民税が減額となるものの、給与所得者数及び給与所得の増加に伴い個人市民税が増額となることなどによるものです。

国庫支出金は、819億8,100万円、構成比は17.7%、前年度に比べ21億5,700万円、2.7%の増となっております。これは、プレミアムつき商品券の発行に係る交付金収入が減額となるものの、入所児童数の増により子ども・子育て支援給付費収入が増額となることなどによるものです。

次のページをお願いいたします。

市債は、532億3,500万円、構成比は11.5%、前年度に比べ30億2,700万円、5.4%の減となっております。これは、建設事業債が新庁舎整備などにより増額となるものの、臨時財政対策債が減額となることなどによるものです。

諸収入は、338億1,800万円、構成比は7.3%、前年度に比べ58億7,500万円、14.8%の減とな

暫 定 版

※確定版の記録ではありません。今後修正される可能性がありますので、御注意ください。

令和2年予算審査特別委員会記録（2月27日）

っております。これは、融資残高の減に伴い中小企業資金融資預託金収入が減額となることなどによるものです。

県支出金は、220億300万円、構成比は4.7%、前年度に比べ24億1,800万円、12.3%の増となっております。これは、入所児童数の増により子ども・子育て支援給付費収入が増額となることなどによるものです。

地方消費税交付金は、219億2,500万円、構成比は4.7%、前年度に比べ35億7,700万円、19.5%の増となっております。これは、消費増税などにより増額となることによるものです。

地方交付税は、146億3,800万円で、このうち普通交付税が140億円、特別交付税が6億3,800万円となり、構成比は3.2%、前年度に比べ34億2,600万円、30.6%の増となっております。これは、臨時財政対策債への振替額の減などに伴い普通交付税が増額となることなどによるものです。

以下、主な歳入は記載のとおりであります。

8ページをお願いいたします。

次に歳出ですが、表3の歳出予算の款別の主な内訳と表の下の増減説明をあわせて御覧いただきたいと存じます。

民生費は、1,699億3,400万円、構成比は36.7%、前年度に比べ61億7,400万円、3.8%の増となっております。これは、入所児童数の増により子ども・子育て支援給付費が増額となるほか、サービス利用者数の増に伴い障害者介護給付等事業費が増額となることなどによるものです。

教育費は、739億5,200万円、構成比は15.9%、前年度に比べ31億9,700万円、4.5%の増となっております。これは、千城台地区の小学校統廃合に伴い学校適正配置整備費が増額となるほか、教育情報ネットワーク、キャビネット更新に伴う経費が増額となることなどによるものです。

土木費は、532億6,900万円、構成比は11.5%、前年度に比べ11億200万円、2.1%の増となっております。これは、村田町線や誉田駅前線などの街路整備費が減額となるものの、東寺山町山王町線などの道路新設改良事業費や稲毛海浜公園のリニューアル経費が増額となることなどによるものです。

公債費は、500億4,100万円、構成比は10.8%、前年度に比べ13億5,100万円、2.6%の減となっております。これは、償還元金及び利子の減によるものです。

衛生費は、368億7,000万円、構成比は7.9%、前年度に比べ8億100万円、2.2%の増となっております。これは、平和公園拡張建設事業の進捗に伴い墓地造成などに係る経費が増額となるほか、助成単価などの増加に伴い指定難病助成事業費が増額となることなどによるものです。

総務費は、347億3,800万円、構成比は7.5%、前年度に比べ15億600万円、4.5%の増となっております。これは、事業の概成に伴い美術館拡張整備が減額となるものの、新庁舎整備に係る経費が増額となることなどによるものです。

以下、主な歳出は記載のとおりであります。

10ページをお願いいたします。

5の一般会計予算の財政構造です。

まず、歳入ですが、自主財源と依存財源の状況は、表4のとおりです。

自主財源の構成比であります自主財源比率は55.3%となり、前年度に比べ1.5ポイント低下しております。これは、自主財源で市税が増額となるものの、諸収入の減額により、前年度に

比べ56億8,700万円、2.2%の減となる一方、依存財源では、市債が減額となるものの、地方消費税交付金や地方交付税の増額により、前年度に比べ82億8,700万円、4.2%の増となることなどによるものです。

次に、11ページの歳出ですが、義務的経費と投資的経費の状況は、表5のとおりです。

義務的経費は、2,629億500万円、構成比は56.7%、前年度に比べ66億4,600万円、2.6%の増となっております。これは、利子などの減に伴い公債費が減額となるものの、会計年度任用職員制度移行などに伴う人件費、また、子ども・子育て支援給付費などの増に伴い扶助費が増額となることなどによるものです。

投資的経費は、437億3,400万円、構成比は9.4%、前年度に比べ9億4,200万円、2.1%の減となっております。これは、補助事業費において、村田町線や誉田駅前線などの街路整備費や消防車両更新に伴う経費が減額となることなどによるものです。

その他の経費は、1,569億6,100万円、構成比は33.9%、前年度に比べ31億400万円、1.9%の減となっております。これは、教育情報ネットワーク、キャビネット更新に伴う経費が増額となるものの、中小企業資金融資預託金が減額となることなどによるものです。

一般会計の状況は、以上でございます。

次に12ページをお願いいたします。

6の特別会計予算の状況でございます。

企業会計を除く14の特別会計の状況は、表6のとおりです。

主な会計につきまして御説明を申し上げます。

国民健康保険事業特別会計は、825億2,100万円で、前年度に比べ56億5,200万円、6.4%の減となっております。これは、被保険者数の減に伴い保険給付費が減額となることなどによるものです。

次ページの介護保険事業特別会計は、722億7,700万円で、前年度に比べ11億8,500万円、1.7%の増となっております。これは、被保険者数の増に伴い保険給付費が増額となることなどによるものです。

後期高齢者医療事業特別会計は、130億1,000万円で、前年度に比べ11億7,000万円、9.9%の増となっております。これは、被保険者数の増に伴い広域連合納付金が増額となることなどによるものです。

競輪事業特別会計は、104億8,700万円で、前年度に比べ2,400万円、0.2%の減となっております。これは、勝者投票券売り上げの減に伴い開催経費が減額となることなどによるものです。

公債管理特別会計は、1,281億3,700万円で、前年度に比べ388億4,300万円、23.3%の減となっております。これは、借りかえの減に伴い償還元金が減額となることなどによるものです。

最後に、地方債の状況について申し上げます。

恐縮ですが、134ページをお願いいたします。

6の会計別地方債総括表は、会計ごとの地方債の発行額や現在高の状況を一覧にまとめたものでございます。

まず、左ページの発行額の状況ですが、令和2年度当初予算の発行額は、全会計合計で988億円で、前年度に比べ215億3,000万円の減となっております。

次に、右ページの現在高の状況でございます。

表の一番右の列、令和2年度末現在高見込み額は、全会計合計で9,893億3,000万円となりま

令和2年予算審査特別委員会記録（2月27日）

す。

以上が市債の状況ですが、今後とも財政健全化指標等の推移を見きわめつつ、財政健全化プランを踏まえ、計画的な市債発行に努めてまいります。

私からの説明は、以上でございます。

○委員長（近藤千鶴子君） 次に、令和2年度病院事業会計予算の総括説明をお願いいたします。病院事業管理者。

○病院事業管理者（齋藤 康君） 令和2年度病院事業会計当初予算（案）について御説明申し上げます。

当初予算（案）のあらましの14ページをお願いいたします。

初めに、病院事業会計予算の状況でございます。

表7-1下段の支出合計をごらんください。

当初予算額は257億400万円で、対前年度比0.2%の減となっております。

次に、基本的な考え方でございますが、地域の中核的な病院として、少子超高齢社会における医療需要の増大や多様化への対応を図りつつ、青葉病院における救急医療や身体合併症を有する精神疾患への対応、海浜病院における小児・周産期医療などの政策的医療に引き続き積極的に取り組み、市民が必要とする安全・安心な医療を一人でも多くの市民に提供してまいります。

経営状況については、平成30年度決算時における累積欠損金が85億円に達するなど厳しい経営状況が続いていることから、経営の改善のため、地域医療連携の強化などにより収益の増加を図るとともに、業務の見直しなどにより経費、材料費などの費用の削減を行うなど、外部の知見を生かした取り組みを進めてまいります。

さらに、海浜病院における老朽化に対応するため、新病院の整備に向けた基本構想を策定するとともに、基本計画及び基本設計に着手いたします。

次に、業務予定量でございますが、数値は両市立病院の合計となっております。

令和2年度の職員数は、1,035人、病床数は662床の体制となります。年間患者数は、入院、外来の合計で55万8,816人、1日平均2,008人を予定しております。

また、主要な建設改良事業としては、海浜病院の空調設備改修などの病院整備事業で2億8,800万円、医療機器等購入で5億2,500万円であります。

次に、収益的収入及び支出でございますが、これは、日々の病院運営に関連する収入及び支出であります。

収益的収入は、入院・外来収益などの医業収益が165億700万円、他会計負担金などの医業外収益などが55億1,000万円、合計220億1,700万円で、増減率は0.7%の増となっております。

収益的支出は、給与費、材料費、経費などの医業費用が217億500万円、企業債利息などの医業外費用等が7億3,000万円、合計224億3,500万円で、増減率は0.3%の増となっております。

最後に、資本的収入及び支出でございますが、これは主に設備投資に関連する収入及び支出であります。

資本的収入は、建設改良事業に充当する企業債8億1,800万円、過去に借り入れた企業債の元金償還金などの財源となる一般会計負担金13億9,000万円、そのほか一般会計からの出資金など10億2,100万円、合計32億2,900万円で、増減率は4.7%の減となっております。

また、資本的支出については、病院整備費及び医療機器等購入費として8億7,200万円、リ

ース資産購入費が4億200万円、企業債償還金が19億9,100万円、そのほか、看護学生などへの修学資金貸与金が400万円、合計32億6,900万円で、増減率は3.5%の減となっております。

以上です。

○委員長（近藤千鶴子君） 次に、令和2年度下水道事業会計予算の総括説明をお願いいたします。建設局長。

○建設局長（佐藤寿之君） 令和2年度下水道事業会計当初予算案について御説明をいたします。

令和2年度当初予算（案）のあらましの16ページをお願いいたします。

初めに、下水道事業会計予算の状況ですが、表7の2をごらんください。

表の一番下の令和2年度の支出合計は、589億4,800万円で、前年度に比べ9.6%、51億6,900万円の増となっております。

次に基本的な考え方でございますが、令和2年度は、安全・安心のまちづくりに向け、引き続き、雨水対策重点地区整備基本方針に基づいた浸水リスクの高い重点地区、その他の一般地区において雨水管渠や貯留槽などの整備を進め、さらに、昨年度の台風や豪雨による浸水被害を受けた地区においても浸水対策を実施してまいります。

なお、市民による防水板設置の費用の一部についても助成してまいります。

また、大規模地震発生時における下水道の機能を確保するため、下水道管渠及び処理場の耐震化とともに、マンホールトイレの設置を進めてまいります。

下水道の適正な機能を維持するため、ストックマネジメントの計画に基づき処理場及びポンプ場設備の点検、補修を適正に行い、必要に応じて改築を進めてまいります。

管渠については、カメラ調査などによる点検、補修を行い、道路陥没などの未然防止のため改築を進めてまいります。加えて、快適な暮らしの基盤づくりに向け汚水管渠の整備を進め、未普及地域の解消に努めてまいります。

このほか、中央浄化センターにおいては、良好な水環境を整えるため、高度処理施設の整備を進め、南部浄化センターにおいては、下水処理過程から発生する汚泥をエネルギーとして活用するための検討を行ってまいります。

下水道事業の経営については、両浄化センターにおいて引き続き包括的民間委託による維持管理を行うなど、経費の節減と管理の効率化を図り、経営の健全化に努めてまいります。

17ページをお願いいたします。

次に、業務の予定量でございますが、本年度は、汚水処理世帯数44万5,260世帯、総処理水量は1億2,677万9,125立方メートルを予定しており、この結果、1日平均処理水量は34万7,340立方メートルとなっております。

また、主要な建設改良事業については、管渠整備事業費74億5,900万円、ポンプ場整備事業費6億9,200万円、処理場整備事業費34億3,100万円となっております。

次に、収益的収入及び支出でございますが、収益的収入については、下水道使用料などの営業収益227億6,000万円、他会計補助金などの営業外収益等78億7,300万円、合計306億3,300万円で、増減率は1.1%の増となっております。

収益的支出については、管渠費、ポンプ場費、処理場費などの営業費用258億1,400万円、企業債利息などの営業外費用等38億1,100万円、合計296億2,500万円で、増減比は1.1%の増となっております。

暫定版

※確定版の記録ではありません。今後修正される可能性がありますので、御注意ください。

令和2年予算審査特別委員会記録（2月27日）

最後に、資本的収入及び支出でございますが、資本的収入については、企業債138億4,200万円、国庫補助金32億4,000万円、一般会計出資金等8億6,500万円、合計179億4,700万円で、増減率は33.8%の増となっております。

資本的支出については、建設改良費124億2,600万円、施設利用負担金などの固定資産購入費1億5,300万円、企業債償還金等167億4,400万円、合計293億2,300万円で、増減率は19.8%の増となっております。

説明は以上でございます。

○委員長（近藤千鶴子君） 最後に、令和2年度水道事業会計予算の総括説明をお願いいたします。水道局長。

○建設局次長兼水道局長（出山利明君） 令和2年度水道事業会計の当初予算（案）につきまして御説明申し上げます。

令和2年度当初予算（案）のあらましの18ページをお願いいたします。

初めに、水道事業会計予算の状況でございますが、表7-3をごらんください。

表の一番下の欄、支出合計は37億2,200万円で、前年度に比べ1.1%、4,000万円の減となっております。これは、資本的支出における建設改良費の減によるものでございます。

次に、基本的な考え方でございますが、令和2年度は、安全な水を安定して供給するため、配水管の整備を行うほか、霞ヶ浦開発事業などへの費用を負担してまいります。また、給水能力不足を解消させるため、配水管の増径改良を行うほか、震災対策として大野台送水ポンプ場設備改良の実施設計などを行ってまいります。

さらに、災害時に迅速かつ安定的な応急給水活動を行うため、プッシュ型給水などに活用する車両を配備するほか、浄水場等の消火栓を応急給水ポイントとして活用するための非常用給水栓を配備してまいります。

なお、水道事業の運営については、より一層の経費節減を図り、効率的な事業経営に努めてまいります。

次に、業務の予定量ですが、本年度は、給水戸数2万82戸、前年度に比べ186戸の増となり、年間総給水量は、473万5,587立方メートルを予定しております。

この結果、1日平均給水量は、1万2,974立方メートルとなっております。

また、主要な建設改良事業としては、拡張事業費1億6,800万円、改良事業費は5,700万円となっております。

次に、収益的収入及び支出ですが、収益的収入については、水道使用料などの営業収益11億3,600万円、他会計補助金などの営業外収益等10億5,900万円、合計21億9,500万円で、増減率は2.9%の増となっております。

収益的支出については、県からの受水費、職員給与費、減価償却費などの営業費用20億1,500万円、企業債利息などの営業外費用等1億6,200万円、合計21億7,700万円で、増減率は1.9%の増となっております。

最後に、資本的収入及び支出ですが、資本的収入については、拡張費及び改良費に充当する企業債1億3,500万円、出資金並びに負担金など9億3,300万円、合計10億6,800万円で、増減率は7.9%の減となっております。

資本的支出については、拡張費や改良費などの建設改良費4億6,200万円、企業債償還金など10億8,300万円、合計15億4,500万円で、増減率は4.9%の減となっております。

暫 定 版

※確定版の記録ではありません。今後修正される可能性がありますので、御注意ください。

令和2年予算審査特別委員会記録（2月27日）

説明は以上でございます。

○委員長（近藤千鶴子君） お聞きのとおりでございます。

以上で、本日の日程は終了いたしました。

次会は、3月13日、本会議散会後に委員会を開きます。

本日は、これをもって散会といたします。御苦労さまでした。

午後4時4分散会

暫 定 版

※確定版の記録ではありません。今後修正される可能性がありますので、御注意ください。

令和2年予算審査特別委員会記録（2月27日）

千葉県議会委員会条例第29条の規定により署名する。

予算審査特別委員長 近 藤 千鶴子